



# 木綿街道古民家 改修プロジェクト ～ツナガル木綿街道～

## 古民家の現状「木綿屋」

対象古民家は、島根県平田町木綿街道にある。木綿街道の最寄り駅は、JR「雲洲平田駅」で木綿街道までは、徒歩約10分位置している。木綿街道には、カフェ【ことん】や生姜専門店、醤油製造が盛んである。

私たちは、現状を把握するため2015年9月20日に実測調査を行った。古民家は、幅約4.5m奥行4.8mの平入切妻屋根であり、中には機織り機、筆等、冷蔵庫、生活用品があった。改修前は「機織り体験場」として使用されていたが、機織り機が移動することになった。木綿屋として使用されていた古民家が空き家にならないように、改修が行われることになった。

## ツナガル木綿街道

古民家は、地域に開ける多目的スペースとして、利用できるように改修を行った。古民家の前にあるカフェ【ことん】で、音楽LIVEが開催されている。改修後は、音楽LIVEが古民家で行える様な、そして貸店舗の役割を果たせる古民家を目指して計画した。

条件として、カフェで使用している冷蔵庫2台を設置し冷蔵庫が通りから見えないこと、本棚を配置すること、カフェと一体化した雰囲気を作ることがあげられた。加えて私たちは、古民家で休憩したり、イベントの開催を通して、人やモノに出会える空間を提案した。

## SCENE 1

自分の好きなCDを持ち寄る  
↓  
多目的スペースに来た人が好きな音楽を聴く  
↓  
音楽を通してヒトとの出会い

## SCENE 2

本を持ち寄る  
↓  
古民家図書館  
↓  
本と本を通してヒトとの出会い。  
絵本を通してママ友との出会い。

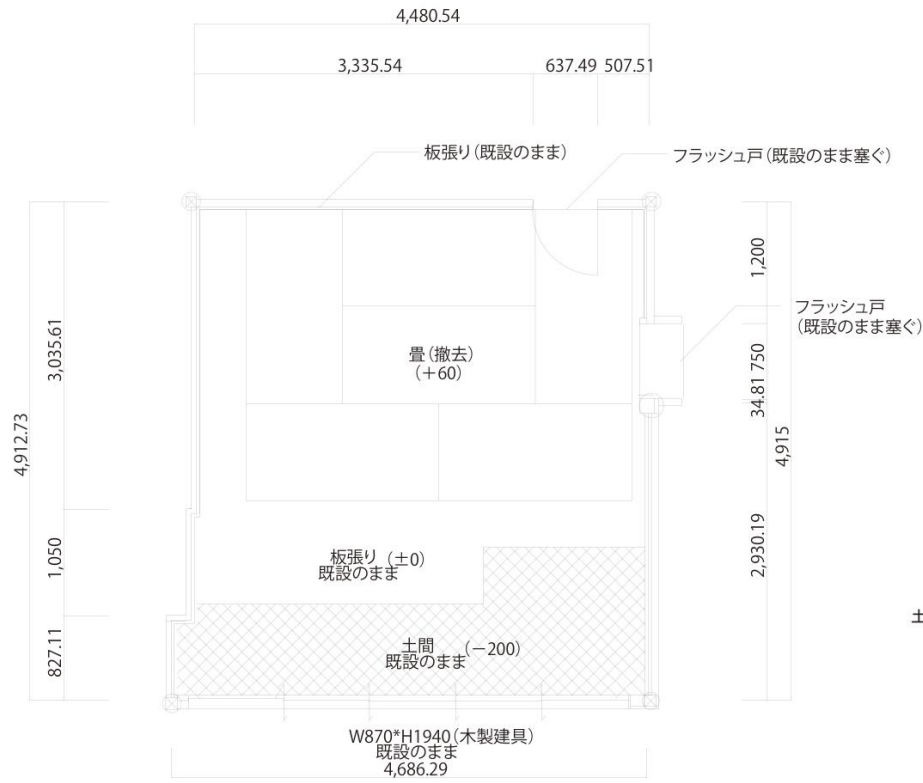
## SCENE 3

植物を持ち寄る  
↓  
地域の方々がお世話する  
↓  
近所の方々が出会う場所

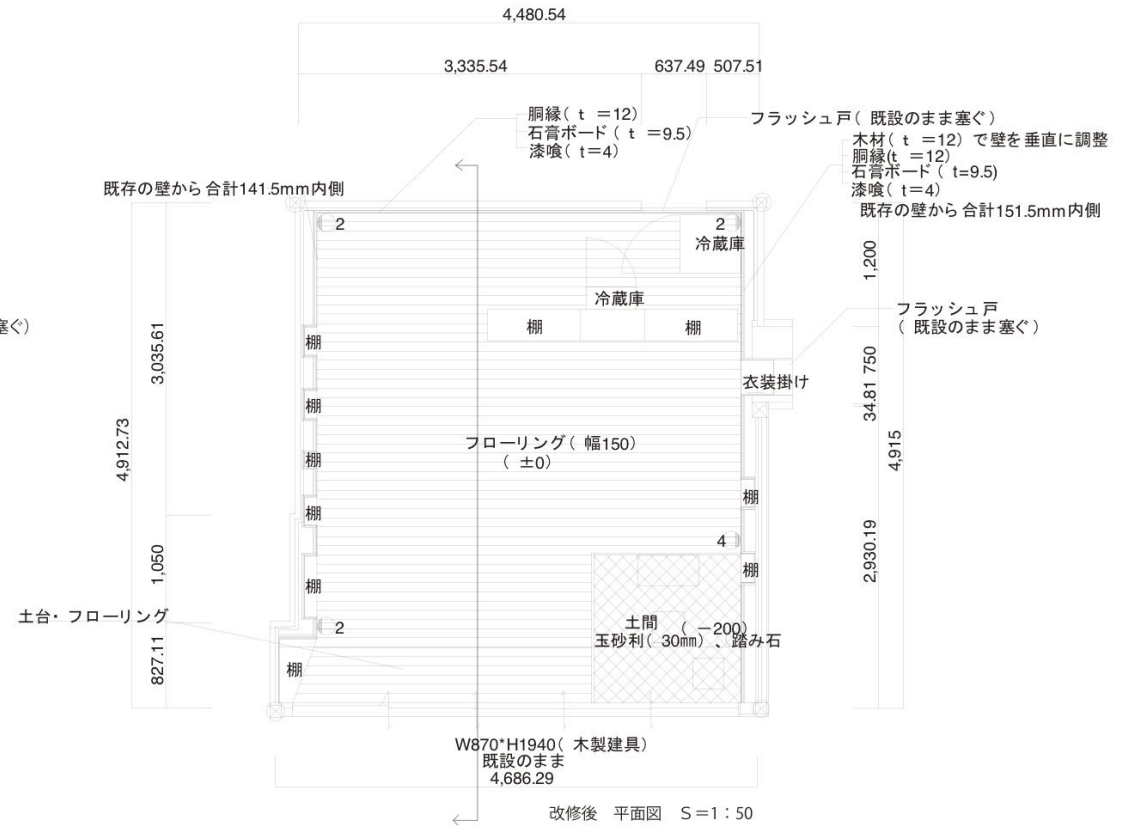


配置図





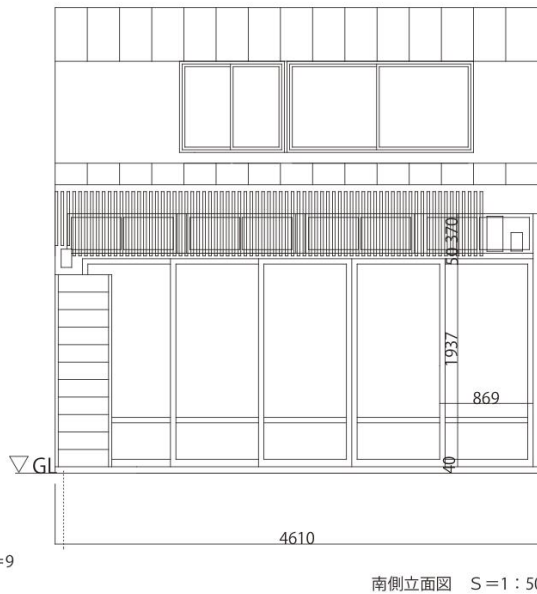
改修前 平面図 S=1:50



改修後 平面図 S=1:50



A-A'断面図 S=1:50



南側立面図 S=1:50



広いスペースを確保するため、土間の部分に床を張った。扉の手前まで床を伸ばしたことで、貸店舗として使用する場合には、販売がしやすくなり、また、地域の人や観光客の人も立ち寄りやすく、腰掛けやすい。

機織り体験場として使用される前は、倉庫として使用されていたため、隣接して居る住宅に繋がっている扉があった。この扉は使用されていないため、扉を塞ぎ凹みを利用して洋服掛けにした。



改修前 改修後 洋服掛け

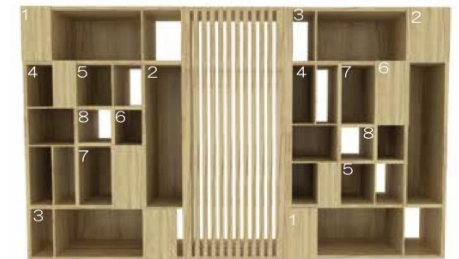
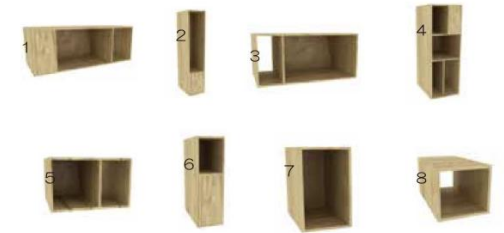
古民家管理者：木綿街道振興会  
 設計：島根大学  
 建築・生産設計工学コース 中野研究室  
 大工：高橋 太  
 左官：岡 隆吉  
 工期：2016年02月16日～2016年03月31日



## 変化する棚

様々な形のユニットを組み合わせた棚を制作した。各棚は、固定されておらず取り外し可能で、机や椅子として使用することが出来る。限られたスペースの中で、多様な使い方が出来る棚を考案した。本棚以外に、カフェで使用している冷蔵庫を隠すための棚を制作。棚と棚の間に格子状の箱を作り、その中に冷蔵庫が収納できるようにした。その他入口にも本棚を設置した。前面道路から見えるため、飾り棚として使用できるように台形型にした。制作期間は約 10 日間。島根大学教育学部山下名誉教授にご指導いただき、大学内にある木工教室で制作した。

各ユニットの棚



使用した材料

本棚  
合板 (1,820 mm × 910 mm) : 15枚  
釘 25 mm

冷蔵庫の格子

合板 (1,820 mm × 910 mm) : 0.5 枚  
角材 (25 mm × 25 mm) : 14本  
スクリュー釘 45 mm

1. 天井柿渋塗り



作業初日は、天井や一部の壁に柿渋を塗装した。柿渋と墨汁を約7：3の割合で混ぜて材料を作る。

2. 壁の胴縁



壁が斜めになっていたため、胴縁を入れ修正した。水平器などを使用し、なるべく床と垂直になるように胴縁を設置した。

3. 壁の棚



元々の壁と胴縁の間にできた隙間を利用し、棚をつかった。7つの棚をつくり4つの棚には、照明を設置できるように、穴を開けた。

4. 石膏ボード張り



胴縁に石膏ボードを貼り付けていく。棚の場所は棚石膏ボードに穴を開ける。2.4mmのビスを使用し、一枚の石膏ボードに25ヶ所止めて固定する。

5. 床の塗装・床張り



硬くて耐久性を持つ栗(クリ)フローリングを使用した。天井の色と合う色合いにするため、こげ茶色に塗装した。

6. 漆喰下地



石膏ボードを張り終わると、次は漆喰の下地塗り。下地の材料は、珪藻土とポンド、水を混ぜ合わせてつくる。

7. 漆喰塗り



下地が完全に乾いたら、漆喰を塗装。下地よりも生地が軟らかく、コテで塗ることが難しかったため、軍手で塗った。

8. 電気配線工事



電気配線工事は、約30分で終了。天井には、スポットライトを10個と壁に空けた4ヶ所の棚の中に照明を設置した。

9. 格子



内装が出来上がると外観の改修。扉の上にガス管が通ってため、格子で覆った。隣接する住宅と同じデザインにすることで一体感が出した。

10. 完成



2月中旬から開始した改修工事は2016年3月31日に完成した。